

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】 令和 7 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	介護保険課長 鈴木 智大	
健福-34	高齢者施設整備事業	☒ 自治事務	主管課	介護保険課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	4-(1) 健康福祉	施策の方針	4-(1)-①多様性のある福祉サービスの充実

1 事業の目的

対象	高齢者
意図	健康の増進や教養の向上と、入所待機者の解消を図るため。
効果	施設による高齢者福祉サービスの充実を図る。

2 令和6年(2024年)度に実施した事業の概要

・認知症高齢者グループホーム(1事業所)の選定を行った。 ・看護小規模多機能型居宅介護事業所(1事業所)の選定を行った。 ・介護付き有料老人ホーム(1施設 50床)の選定を行った。 ・小規模多機能型居宅介護事業所(1事業所)を開設した。	
---	--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値／目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算／当初)(千円)		予算額(千円)	
01	高齢者入所施設等 整備法人選定委員会 実施事業	法人選定	—	/			
				64 / 104		104	
02	地域密着型サービス 等整備助成事業	開設準備経費等補助	-	288 / 306		306	
				14,918 / 44826		133,463	
03	地域介護・福祉空間 整備等施設整備事業	介護事業所における 防災設備関連の改修 費補助	-	/			
				0 / 0		7,730	
04	介護医療院整備費補 助事業	整備費補助	-	/			
				0 / 0		10,000	
05				/			
				/			
06				/			
				/			
07				/			
				/			
08				/			
				/			
09				/			
				/			
10				/			
				/			
		財源 内訳	国県支出金	14,918	/ 44826	141,193	
			地方債	/		7,500	
			その他特定財源	/			
			一般財源	64	/ 104	2,604	
		事業費の合計 (千円)		14,982	/ 44,930	151,297	
		人件費 (千円)		7,865		8,537	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.7	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	高齢者入所施設等整備法人選定委員会実施事業	公募に応じる法人等がある場合に委員会を実施する事業であり、目標設定になじまない。	公募に応募してきた法人等のうち、適切に運営できる法人等を選定する。	—
02	地域密着型サービス等整備助成事業	令和6年度に地域密着型サービスの定期巡回・随時対応型訪問介護看護(1事業所)、認知症高齢者グループホーム(1事業所)、看護小規模多機能型居宅介護(2事業所)の公募を行い、認知症高齢者グループホーム(1事業所)、看護小規模多機能型居宅介護事業者(1事業所)を選定した。選定した事業所については、令和7年度に整備される予定。	多様化するニーズに対応した介護保険サービスを整備することで、要介護等の認定を受けた人が住み慣れた地域で介護保険サービスが受けられる。	神奈川県補助金を受けるためには、開設時期等の条件があることから、特定財源確保のためにも、開設時期を精査した上で公募をするなど、スケジュール管理を慎重に行う必要がある。
03	地域介護・福祉空間整備等施設整備事業	本事業は事業者からの申請に基づき行うもので、目標設定になじまない。	介護事業所の防災・減災対策を支援することで、利用者の安心・安全を確保する。	—
04	介護医療院整備費補助事業	令和7年度に介護医療院(1施設)の公募を行う。	市内に介護医療院が整備されることで、医療と介護を必要する要介護者が住み慣れた地域で生活ができる。	—
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2 市民等と協働して実施する事業はない
			協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☒ 拡充	☐ 改善・変更	☐ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
第9期鎌倉市高齢者保健福祉計画(令和6年度～8年度)に基づき、計画的に施設等を整備していく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	認知症高齢者グループホーム定員数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
計画的整備の達成状況の把握	目標値	252	252	288	288	288	306	
	実績値	252	252	270	288	288		
	達成率	100.0%	100.0%	93.8%	100.0%	100.0%		

指標(単位)	小規模多機能型居宅介護事業所数						単位	事業所数
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
計画的整備の達成状況の把握	目標値	7	7	8	8	8	8	
	実績値	7	7	7	7	8		
	達成率	100.0%	100.0%	87.5%	87.5%	100.0%		

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	65歳以上人口及び65歳以上高齢化率(令和7年4月1日)							
団体名	鎌倉市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市			
他市実績	53,123人	123,763人	10,062人	18,199人	16,243人			
	30.46%	32.80%	31.70%	31.56%	41.0%			

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	三浦半島地区の高齢化率が高い状況である。高齢化率が高い比較対象市の施設整備状況を参考にして、本市の施設整備について検討していく。
--------------------------	--